

議員全員協議会

日 時	令和2年4月22日（水）開会中	9時55分 開会 10時53分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 中野康子 副議長 15番 大井俊彦	
	1番 鈴木長馬	2番 濱崎一輝 3番 原口康之
	4番 吉田富士雄	5番 平口朋彦 6番 藤野 守
	7番 名波喜久	8番 植田博巳 9番 村田博英
	10番 良知義廣	11番 澤田隆弘 12番 鈴木千津子
	13番 太田佳晴	14番 大石和央
欠席議員		
事 務 局	局長 原口 亨 次長 原口みよ子 書記 大塚康裕 書記 本杉周平	
説 明 員	市長、副市長、教育長、建設理事、企画政策部長、総務部長、 政策監、建設部長、産業経済部長	
傍 聴		

署名 議長

開会の宣告

○議長（中野康子君）

おはようございます。急なお呼び出しをいたしましたけれども、全員の皆様、ご都合つけていただきまして、誠にありがとうございます。

2 市長報告

○議長（中野康子君）

本日お集まりいただきましたのは、20日の全員協議会での市長報告の中の質問等の中での内容と、昨日の新聞報道の静岡新聞での第一面での見出しと、この部分での差異がありましたので、この部分での説明をしていただき、そして今後の市の方針をしっかりと聞きし、共通の認識の中で情報を共有し、今後の議会の対応を考えていきたいと思ひまして、お集まりをいただきました。

なるべく短い時間での全員協議会といたしたいと思ひますので、質問、説明とも簡潔にお願いをいたしたいというふうに思ひます。

それでは市長、よろしくお願ひいたします。

○市長（杉本基久雄君）

皆さんおはようございます。急遽の全員協議会の招集というようなことをお願ひさせていただいて、お時間いただきましたことに感謝申し上げます。今、議長からお話がありましたように、日々国の状況でありますとか静岡県の状況、あるいは県内各市町の状況が刻々と変化をしているという状況の中で、新聞報道等もあって、いろいろなご認識の違いがあるというようなことも含めて、再度、市としての考えを議員の皆様にお伝えする必要があるだろうということでお集まりをいただいた次第であります。

それでは、資料に沿って私のほうから報告をさせていただきたいと思ひます。

まず、新型コロナウイルス感染症の対応についてでございますが、昨日の21日、火曜日の新聞報道に、静岡市が「飲食店などの事業者に休業要請し、事業者に協力金を支給する」、そして「生活圏が重なり、連携中枢都市圏を形成する4市2町と同時に要請する」と報道がございました。

そもそも、我々の牧之原市は鉄道駅を有していない。また、御殿場でありますとか、あるいは湖西でありますとか、いわゆる感染が拡大している県と隣接していないというような状況もございまして、そういった中で一律の休業要請あるいは補償というものは、その状況が異なるということで静岡市長さんとも話をさせていただいたところでもあります。

そして、本市といたしましては、国、県の詳細な助成措置が公表されていないという段階で、市の負担額が見込めない中での休業要請や協力金の支払いというのは、現状ではできかねるとい

うふうに思っている次第であります。

そうした中で、一昨日、20日の月曜日の全員協議会にもご報告をいたしました。が、事業継続資金の支援策を取り急ぎ、財源は現予算の組み替えで対応していきたいという考えは同様の考えで今もいるということでもあります。

しかしながら、先ほど冒頭申しましたように、国の交付金の活用、これを補償金に充ててもいいよ。あるいは、まず県が具体の詳細内容を示しておりませんが、県の財政基金を活用して市町が行う補償を支援するというようなことも表明しております。

昨日、県議会に県の補正予算の概要を示しましたが、その中には織り込まれていないんですね。そういったのもございますので、支援の内容の詳細の確認、国の方針あるいは交付金の状況を早急に中身を確認して最終判断をしていきたいというふう考えているところでございます。

そして、本日新聞報道等にございましたけれども、県市長会、町村会の要望を知事に行う予定であります。私としても、現状の情報だけだと、なかなか判断しかねるということもございまずので、市長会長からも出席要請がございましたので、本市の状況や支援事業に対する、市町が判断できる県の支援策の詳細を早急に示すよう、私としては要望していきたいというふう思っておりますので、本日午後ですが、知事のところに伺う予定でございまず。

そして、中小企業対策につきましては、利子補給を実施しているところでございまずですが、昨日、21日、火曜日であります。が、商工会から会員1,551事業者への影響調査の報告がございました。6割の事業所が売上減少の影響が出ていて、50%以上の売上が減少している事業所が2割、そして9割の事業所が回復の見通しが立たないという深刻な内容の報告でございました。

こうしたことから、コロナウイルス感染拡大影響事業者への対策支援制度等の設置要望をいただいたところでございまずので、これらを含めて対応を検討していきたいと考えているところであります。

対応策といたしましては、現在国の持続化給付金制度、これは法人には200万、個人事業者には100万というような現金給付、あるいは県の補正予算にも織り込まれております「中小企業等危機克服チャレンジ支援事業費助成」事業、これは当市においてもテイクアウトとか、飲食店が新たに取り組む新たな事業、そういったものに対して県が最大50万円でしたか、支援するというような補正予算が今示されておりますので、そういったものの活用。市といたしましても、こうした事業の嵩上げや、あるいは不足しているところ、いわゆる事業者等が望むところを、今後内容を詰めて、早急に対応策を進めていきたいというふう考えているところでございまず。

そして、お茶についてもであります。が、お茶については少し情報が詳細が入っておりませんが、大卒でいいますと、非常に冒頭から価格が下がっているという情報を伺っております。そして、葬儀とかの縮小とかいうこともあって、買い手が相当選別買いに入っていて、新茶商戦のムードが盛り上がらない、あるいはデパートが閉まっているというようなことで、なかなか機運が、新茶ムードが盛り上がらないという状況で苦戦しているということも伺っております。

そして、花卉等についても、各種イベントとか宴会、あるいはそういったホールを活用しての

事業がないということから、花卉が牧之原市はガーベラは県内でも生産額2位なんですけど、その市場価格が暴落しているというようなこともございますので、今後、農業関係についても大きな影響が出てくるということをご予想しておりますので、こういったことに対して、茶業振興協議会あるいは認定農業者協議会などと協議をさせていただいて、それが農業者全体の支援につながるような、自由度のある支援をしていきたいと考えているところでございます。

財源につきましては、現予算の組み替え、それから国の交付金制度の活用、あるいは県のいろいろな今度の補正予算の事業メニューの活用等を含めて行っていきたいというふうに考えているところでございます。

私からは以上でございます。

○議長（中野康子君）

ありがとうございます。それでは、昨日、議会運営委員会を臨時で開かせていただいておりますので、その議会運営委員会の委員長のほうから、少しご報告をさせていただきたいと思っております。

鈴木千津子議員。

○12番（鈴木千津子君）

昨日、議長より要請を受けまして、急遽議運を開きました。そこで出た発言等、少しありますので、お聞きいただきたいと思います。

まず、頑張って創意工夫でやられているところは、苦しいながらも工夫の余地がある。どのようにあがいても頑張りようがない職種もある。そのような方々への手当は厳しいということか。どうあがいても頑張りようがない方々への方策を。そして、各市町の財政状況は違っている、一律にはいかない。国県の方針を見定めていただきたい。また、お金がないと支援ができない。限られた予算の中で対応していくため、当局内で方針を決めていただき、ころころ変えないでほしい。細心の注意を払っていただきたいなどの発言がございました。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございます。

それでは、質問をお受けしたいと思っております。挙手をお願いをいたします。

植田議員。

○8番（植田博巳君）

今、市長からの報告がありましたけれども、JRの沿線ではないよという中で、今、休業要請している市町とは若干状況が異なるというお話でしたけれども、現実的に、やはり商工会からの要望もあるように、JR沿いではなくても、やはり状況は同じであると思っております。

そういった中で、休業要請とか協力金というのは、既に市民の皆さん、飲食業の皆さんは期待している状況にあるというふうに思います。そういった中で、市が判断できる県の支援策の詳細とか、そういうものを見てから判断するということなんですけれども、今、市長のお考え、そう

というような国県の支援策が出た場合、どのような形で実施していくのか、考えを教えてください。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

私としては、先ほど申しましたように、現状では県がどこまで支援するのかというのが見えておりません。そういう中で、これはもう県もゴールデンウィークまでの緊急的な措置なんですね。休業要請、そして休業補償というのは、この間にコロナウイルスが全国に拡大しない、そうしたことでの自粛要請でございますので、これは少なからずとも一両日中には県の方針が示されるであろうと、詳細が示されるであろうということを期待しているわけですが、そういう中で、少なからずとも2分の1、あるいは最終的には、ほぼ国県の助成金で賄えるというようなことであるならば、私としてはやはり牧之原市だけやらないということにはならないと思いますし、今現状では、私も昨日藤枝市長ともお話をしましたが、藤枝市も同様に県の支援制度の状況を確認する中で最終判断をしたいということでありまして、近隣の市町もまだ表明してございませんので、そうした動きも踏まえて最終判断していきたいと。そういった支援制度が充実して、市の先ほど言ったように予算の組み替え等で支援ができるということであるならば、やはり既に自粛をしたり営業をやめたりという方たちもいらっしゃると思いますので、そこについてはそういった制度が充実できて、財政見通しが立てば、そこはそういった形で休業の要請にも踏み切るということも踏まえて、ここ一両日中に判断をしていきたいということで考えております。

○議長（中野康子君）

植田議員。

○8番（植田博巳君）

そうすると、一両日中にそういうような状況が把握できたならば、休業要請及び協力金というような形の支援対策を打っていくというようなことでよろしいですか。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

県の支援制度の内容、それから国の交付金がどこまでというのは、ちょっと掴めないかもしれませんが、そういった制度の内容によって補償金といいますか、支援金については額も含めて決めていきたいというふうに思いますし、各市町10万から50万ぐらいというふうになっていますので、その辺も踏まえて予算も含めて、ここ一両日中の判断になるだろうというふうに思っております。

○議長（中野康子君）

植田議員。

○8番（植田博巳君）

ぜひ、前向きにお願いしたいと思います。このコロナが収束した後、混乱が収まった後、どれ

だけの商工の人が残られているかと。要するに、今が事業を継続するために最大重要な時期だと思ふんです。そういったことで支援をしていただいた中で、地域の活性化のもとになる、そういうものを継続して行っていただきたいなと思いますので、ぜひその辺は十分目的として、今継続しなければならない支援策をお願いしたいというふうに思います。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

私も今回の、先ほど申しましたように、この臨時休業の要請と補償金というのは、今まで受けたダメージを修復するというものではないというふうに思っています。単なる熱さまじみみたいな、とりあえずの頓服みたいなのところがあるのかなというふうに思っています。最終的には事業者が今これだけ落ち込んでいる経営状況を回復していくためには、先ほど申しました、持続化給付金というのが、国の制度がございます。これは法人が200万円、個人事業者は100万円ということで、こうした国の制度がございますので、こういった制度で給付金を受けていただくほうが額は大きくなると思いますし、それから先ほど言ったように、頑張る事業者に関しては市も考えていたわけですが、県が今度補正予算でそこを充実するというのを打ち出しておりますので、200万円を上限に費用の3分の2を助成するようなことが今回示されておりますので、新たな事業立てを考えていらっしゃる事業者にはこういったものを活用していただいて、復興対策に向けていただくようにさせていただければというふうに思っております。

○議長（中野康子君）

ほかにご質問がある方、どうぞ。

村田議員。

○9番（村田博英君）

安易なことは言えないということで、ない袖は振れないというのはどこの市町も同じだし、よく分かるんですが、2月ごろから自粛というよりも、使うほうが、お客のほうが自粛したということで、店は開いていたわけですが、だから自粛要請をしたわけではないんですが、自粛せざるを得なくなったという状況があるかと思います。

大きな県内外を含めたイベントが中止になったり、それから3月末の期末のそういう総会とか、お別れ会だとか、そういうものが全部中止になって、それによる影響というのが、ご存じのようにあると思いますが、これは5月6日は解除するかどうかということがありますが、今現在、これはどういうふうになっているか知りませんが、スズキ自動車の総会はどうなったかというのを一つお聞きしたいんですが、要するに法人税がどんどんずれてくるわけですね。スズキ自動車がずれると、ほかも全部ずれますので、一般事業者の納税もおぼつかなくなると。要するに、ウイルスは収束したけど、その影響というのはずっと出てくるんですよ。これもよくご存じだと思いますが。

それで、私はここで要するにコロナ対策での臨時交付金、これがいつ来るのかと。あまりはっ

きりしないようですね、ぐずぐずして。10万円は6月ですかね。ほかのものは、もう何かよく分からないんですね。初めてだそうですね、予算組み替えは。決定後。政府はそんなことを言っていますけど。

そんなことよりもっと早く、今言ったような事業者にお金を、同僚議員も言っていましたけど、回すと。あるいは安心させるということの発表をぜひしてほしいんですよ。それでないと、いつまで続くのか分からないという状況になって、皆さんやりきれない思いがあると思います。まず、その県内の大手の株主総会がほとんど多分ずれるんじゃないかなと思うんですよ。そうすると、法人税もずれますので、そこを至急当たって、それで私が一番心配するのは、事業者もそうなんですけど、市の財政ですよ。これはやりくり困っていると思いますよ、多分。現金がなくなってきましたからね。特に、年末来、防災関係の工事発注は過去最高ぐらいに多かったですから、支払いが今なんです。多分4月、私はちょっと関連のところへ聞いたんですけど、そういうようなひっ迫した状況にあるんですよ。だから、これはコロナが収束するとかいうよりも、その影響による牧之原市の財政及び経済活動が止まってしまうかもしれないというぐらいの危機感を持って、ぜひ市長、県になり陳情へ行くなり、議会も併せて、私はそういう権限はありませんが、こぞって応援しますので、ぜひそういうつもりでやってもらいたいと思います。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

今、村田議員のご意見のとおり、スズキ自動車に関しても決算が今打てないという状況で、いつ最終的な決算を打つのかというのが、まだ我々のところにも情報が入っていないという状況でございます。

というような状況で、これからスズキをはじめとする大手事業者に対して、決算の状況あるいは株主総会の状況は把握をしていきたいというふうに思っております。

それから、臨時交付金。今、国が地方創生の臨時交付金というのを1兆円用意しているわけですが、知事会では、とてもそれでは足りないのではないかとということで増額の要望をしているというような状況でありまして、それについては3,900億円を県へ、残りの3,900億を市町村へというような状況で、感染拡大地域の指定県に多く配分するようなことも言っておりますので、そこがどれくらい配分されるかというのは、今読みをしているわけですが、それと県の今回の交付金というものと、今回の県の補正予算、これも資料を県議にいただきましたので、朝、各部長にその資料をわたして、中身を吟味して、使えるものに関してしっかりと用意をするようにという指示をしたところでございます。

それから、今、村田議員がおっしゃったように、法人市民税はほぼ入らないということを前提に今、予算の見直し、組み替えを指示したところでございますので、そうした意味で歳出を最小限に抑える、そういう中で経済対策も打っていかなくてはならないということでもありますので、最終的に法人税等が減収すれば、地方交付税がその分、若干嵩上げをされるという形になります。

さらに不足する部分については、減収補償を充てるというようなことで財源を確保していくということですが、そうした中でも、あくまでも減収補填償は起債でありますので、極力抑えなくてはならないというふうに思っていますので、そういった意味で、もう一度歳出をさらに見直す必要があるというふうに思っております。

○議長（中野康子君）

村田議員。

○9番（村田博英君）

ぜひ迅速にお願いしたいと思いますが、もう一つは、予算の執行に当たって附帯決議を付けさせてもらったんですが、不要不急とはいいませんが、延ばせるもの、大型の事業については、知恵を絞って、相手があることだという話もありますので、一次工事であとは延ばすとか、原発も止まっているわけですから、急に防護施設をとということを、順番を考えれば市民は分かってくれると思います。ぜひ、そういう見直しをお願いしたいです。

1%なんて言っている場合じゃないんですよ。そんな、5%も足りないんですよ。大きくカットしないと。それぐらいのつもりで、それからあれですよ、スズキ自動車さんとか矢崎さんとか、小糸さんなんかはもう出ていますから、聞いていませんなんて言っている場合じゃないんですよ。前も言いましたけど、私ね。言ってくださいよ、会社を訪問して。それで聞いてみてくださいよ。素直には言わないと思いますが、大体の雰囲気は分かると思うのでね。

それから、これはちょっとあれですが、伊藤園の売上が減っているということなんです、一つはいろいろな会議とか、イベントが減ってしまっているということじゃないかということなんです、その辺はどういうふうに捉えていますか。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

まず、大型予算の件ですね。そういう中で、相手があるということですので、高台開発については、そこは慎重に調整をしないといけないというふうに思っております。

それから、放射線防護施設については、今ご意見がございましたけれども、そこも含めて、これから検討する一つの事業であるというふうに私も思っているところでございます。

それから、もう一つは伊藤園の関係ですね。きょう、市内の伊藤園の事業を連携して行っている事業者の方がお見えになりました。その方のお話ですと、2月、3月は荷物が動いている。例年よりですね。そして、伊藤園の株が上がっているというお話を伺いました。ですから、伊藤園本体は、かなり状況は悪くないというふうに、その方も言うておりました。

そういったことから、今度、茶業振興についても6億数千万のトンネル補助でございましょうが、JAと、それから市内の茶業者が取り組む茶工場、それからお茶の倉庫、これについては予定どおり進められるだろうというふうに思っているところでございます。

そして、ご指摘のスズキをはじめとする市内の事業者の決算の状況等については、早急に訪問

して、その状況を把握するように指示をさせていただきたいと思っています。

○議長（中野康子君）

村田議員。

○9番（村田博英君）

まだ細かいあれがありますが、ぜひ、もう国のリーダーとか県のリーダーは不在のような状況になっているというふうに私は感じています。もう市長しか頼る人がいけませんので、ぜひお願いいたします。

○議長（中野康子君）

そのほかにありませんか。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

今し方の市長報告で市の考えというものは分かりました。こちらにもありますように、県や国の方向性、詳細が分かった時点で判断されるということで、私もそれがいいのかなとは思いますが、一方で、昨日ですか、静岡市長が記者会見をされた模様が動画投稿サイトにアップされていて、そのリンクをメッセージでいただいて、牧之原市も歩調を合わせるということで助かるよというようなメールをいただいたんですね。

もう静岡市長の発言が独り歩きして、5市2町で足並みをそろえて自粛要請もするし、休業補償もするというふうに独り歩きしてしまっているんですね。動画の中でも、静岡市だけが自粛をしたら焼津市の娯楽施設に行ってしまうから、焼津市も止めてもらわないとみたいなことも言っているんですね。そういった意味でも、牧之原市でももう、既に自粛要請が出る、休業補償も出るというふうに勘違いと言ったらあれなんですけど、そういうふうに受け止められた方がちょっと出始めてきているんですが、このことに関して、どういうふうに市は対処されるのか。

我々にはこうやって説明がありましたが、もっと広く、どういうふうに対処されていくのか、お聞かせください。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

私としても、昨日の新聞記事、あるいはテレビ等でのインタビューを見まして、即静岡市長に電話を入れてまして、まだ我々は聞いていないけれどもというようなこととお話させてもらって、我々の状況、我々の支援策をいろいろお話をさせてもらった上で、各市町状況が違うので、静岡市と同様のことをやれという要請をするつもりはないよということなんですけど、我々がこういうことをやることについて、ご理解願いたい。できるならば周辺市町も同様に、額は別として、そういったことをやっていただけるとありがたいというようなことなんですけど、私としては先ほど言ったような理由で、まだ判断し切れないと。独自策については、事業継続に関する飲食店の支援を

とりあえず早急にやりたいというような話をさせてもらっていたんですが、また昨日のテレビのインタビューでありますとか、きょうの新聞報道においても同様の記事が出ていますので、ちょっとそこについては私も、あたかも周辺市町が同意したというようなふうにとられかねないということは十分承知しておりますし、そこについては、もしそこが変わるのであれば、それなりのしっかりとした発信をしなくてはいけないというふうに思っていますので、先ほど申しましたように、藤枝市さんと周辺市町等も、県の助成制度を確認した上でということでもありますので、私としては、現段階で記者発表したりということには、現在はちょっと周知するのは厳しいと。

先ほど申しましたように、一両日中に確実にこれは、今度の25日から6日というようなことを言われていますので、そうするともう、ここ一両日中には表明をしなくてはならないだろうと。やるにしても、やらないにしてもですね。ですから、そういった意味で、明日記者懇がございませう。そういったところで、最終判断ができれば、しっかりと表明させていただいて、市民の皆さんに周知をさせていただくというようなことをしていきたいというふうに思っております。

○議長（中野康子君）

ほかに、ご質問は。

吉田議員。

○4番（吉田富士雄君）

ここに、チャレンジ支援事業助成という支援が出ると書いてあるんですが、このチャレンジ事業というのをやっていく上で、この状況下の中で何をやったらというか、中小企業の方たちも、私も中小企業であったものだから、その当時お茶を染めてカテキンマスクというのを作った経歴があります。

この資金をもらうには、本当にどうしたらという、簡単にここに書いてあるんですが、やはり県の指導者が誰かが説明会を開いたり、中小企業の方たちにしていけないと理解できないと思います。簡単にこの助成金が出るとは思っていません。市のほうではどうしていったらということをおもっているのか、説明をお聞きしたいんですが。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

私としても今入っている情報としては、昨日の県の補正予算の概要といいますか、要求調書といいますか、県議に配られた資料をいただいているのみでありまして、まだ県から市に対しての説明はございません。

もう一つは、きょうの静岡新聞の朝刊に、新型コロナで資金繰り悪化という中で、制度融資枠を大幅拡充というようなことで県の補正予算案が示されております。

そういう中で、県は関連事業費87億2,800万円を計上したという中で、中小企業の新事業の応援事業として1億円を計上したということでもあります。

この内容はというと、新型コロナウイルス感染症の影響下において、テイクアウト商品の開発、

あるいは業態の転換を図る小規模事業者を支援するというようなことになっています。

さらに、新聞のほうが少し詳細に書いてございまして、事業者の新しい取組をサポートするという。飲食店の例えば宅配サービス、移動販売、インターネットを活用した教育支援、事業者の新しい取組をサポートする。新型コロナで売上が前月比10%以上減少した事業者を対象として、200万円を上限に費用の3分の2を補助するというようなことが新聞紙上ではうたわれておりまして、県のほうからいただいたのは、そのうち限度額は50万ということですので、3分の2の補助率で50万が限度額ということですので、今市内においても、テイクアウトとかお昼のデリバリーを始めるとかいう事業者がたくさんございます。市の活性化センターへ登録いただいたり、牧之原のまきめしとか、いろいろなところに今登録者だけで4、50店舗あるかと思えます。

そういった人たちを、商工会あるいは地域活性化センターも含めて、この事業内容をしっかり把握した上で、こういった申請の事務のお手伝いを、例えば市とか商工会とか活性化センターがお手伝いするというような形で、できるだけ早く、こういった事業に取り組んでいるわけですから、手元へ落ちるように、事業に乗っかれるようにご支援させていただきたいと思っています。

○議長（中野康子君）

吉田議員。

○4番（吉田富士雄君）

その事業者に周知してもらうことが大事なものだから、そういう申請書を出して、早くこの助成金をもらえるような手続を進めるようにやってください。

以上で終わります。

○議長（中野康子君）

ほかに。

藤野議員。

○6番（藤野 守君）

本来ですと、基金が3月末で28億円の実績見込みがあったんですよね。これこそ、やっぱりこういうときのとんでもない事態に備えるというものだったと思うんですけれども、予算も見直すということのお話ですけれども、やはりその辺の、32億あったものが来年度は10億円になるということですが、やはりその辺の基金の残高というのを意識しながら進めていってもらいたいと思うんですが、連携中枢都市圏で5市2町、これはいろいろこれから話し合いがあると思うんですけれども、財政力の差がもちろんまちによってあるんですけれども、低いほうに合わせたら、やっぱりなかなか納得できない面が出てくると思うんですよね。その辺はやっぱりうまく調整して、事業規模もありますし、いろいろな条件がありますから、それぞれ違うと思うんですけれども、低い水準に合わせるのではなくて、やはり事業者、市民を考えた上で、ぜひ前向きに取り組んでいただきたいというふうに思います。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

基金については、藤野議員が仰せのとおり、こういった災害を含めて、経済危機等も含めて対応できるための基金であるということは承知しているところでございます。そういった中で、やはりそういった備えは当然必要であるというふうに思っているところであります。

それから、5市2町の連携事業でございますが、これについては私も静岡市長と連日お話をさせていただいておりますが、今年度約2,000万ほどの事業を予定しております。これについては、約600万ほどがクルーズ船、観光振興ですね。それから御前崎港の利活用の促進も含めてですが、それとAI自治体の促進ということで900万円ほど予算を計上しているわけですが、これについて、少し事業内容を見直させてほしいという形で、経済対策、これに活用するような形で、組み替えができるような形で柔軟な対応を、静岡市としても、中枢都市としてご理解をいただきたいということで、今月28日に5市2町の会議を予定しておりますので、そこで私からもそうした事業見直しをさせていただく中で、経済対策にシフトさせていただきたいという要請をしていきたいというふうに思っています。

それから、額についてももう少し嵩上げを各市町、関連市町に枠を振り分けてくれないかという要請も静岡市に対してしたいというふうに思っています。

○議長（中野康子君）

藤野議員。

○6番（藤野 守君）

今の件は分かりました。やはり、予算のさまざまな組み替えがあるにしても、命と健康と、それから暮らしは、そういう扶助的なもの、そういう面は十分留意してお願いしたいというふうに思っております。

あと、細かいところなんですけど、商工会から要望が出ました。昨日出ましたけれども、大体あぁいったことは商工会さんの会員が対象だということがあるんですね、時々市の事業の中で。やはり、それ以外にも30%の会員以外の方もいるものですから、そういう声もやっぱり聞いていただいて、多分小零細事業者だと思うんですね。そういった声も、ぜひ行政のほうで聞いていただいて、対応をお願いしたいと思います。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

仰せのとおり、当然、命、暮らし、それが基本でございますので、そういった扶助費のしっかりと対応する中で、投資的経費を組むということが私も大前提だというふうに認識しております。

それから、商工会に関しても、加入者、未加入者の差別がないようにということではありますが、今回の国あるいは県の助成事業等全てであります。その壁はございませんので、しっかりとそういったところを発信させていただいて、市としてもプラスアルファの市単独の事業についても、そういった壁は撤廃する中で、全ての事業者が享受できるようなものにしていきたいという

ふうに思っております。

○議長（中野康子君）

そのほかにありませんか。

原口議員。

○3番（原口康之君）

1点お願いします。給付金が10万円とかいうふうな、いち早く皆さんに届けたいという部分で、マイナンバーカードの活用とかいう話も出ているんですけど、市においてやっぱり今までずっとマイナンバーカードのあれが少ないということをずっと言われているんですけど、こういう時期に抱き合わせというような感じでマイナンバーカードを促進するようなあれというのは、これから進めていく予定とかあるんですか。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

今回の給付金10万円に関しては、国は5月末までみたいな、あるいは遅くとも6月みたいな急ぐ。現在、マイナンバーカードを持っている方については、そのマイナンバーカードで給付申請ができるように聞いています。ですから、かといって、今回この給付金をもらうためにマイナンバーカードをとると、マイナンバーカードを申請して下りてくるまでに1カ月以上かかると思っていますので、それよりも今回郵送で来たものを出すというほうが早いかなというふうに思っています。

ただ、さらに国がマイナンバーカードを活用した給付金というのを、たしか1万円とか2万円だったかな、国民一人あたり、それを何か考えているということを知ったことがございますので、それについてはマイナンバーカードがないとその給付金をいただけないというような制度もあるやに聞いていますので、そこについてもしっかりと情報を収集して、市民の皆さんに早期に、そういった利点があるとすればマイナンバーカードの取得を呼びかけたいというふうに思っています。

○議長（中野康子君）

ほかに質問はありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

では、これで市長報告の一つを終わらせていただきます。

次に、静波海岸隣接道路及び相良海岸・静波海岸陸闌の閉鎖についての件につきまして、ご説明をお願いいたします。

建設部長。

○建設部長（飯塚一日君）

それでは、産業経済部と建設部からということで、静波海岸隣接道路及び相良海岸・静波海岸

陸闌の閉鎖についてということで、ご報告をさせていただきたいと思います。

本日の新聞にも掲載されておりましたけれども、サーファーを介した感染拡大防止を図っていききたいということで、今回、陸闌の閉鎖をさせていただくことにさせていただきました。

資料2のほうですけれども、1の現在の状況でありますけれども、緊急事態宣言の発令以降、市内の海岸を訪れる方が例年より増加しております。非常に多くなっております。

こういったことから、先週ですけれども、14日に日本サーフィン連盟静岡2区支部と連携して、緊急事態宣言による指定地域や感染拡大地域からの来訪自粛を呼びかける看板でありますとかを市内海岸に設置するとともに、海岸駐車場を閉鎖させていただきました。

しかしながら、先週の日曜日には、かなりのサーファーが訪れていたということで、対応協議をさせていただきまして、今後の対応として、路上駐車ですとか、市外からの海岸利用に歯止めがかからないというような状況がございますので、さらなる強化をしていきたいということで、今回、相良海岸、それから静波海岸の陸闌を閉鎖することとさせていただきました。

なお、地頭方港でありますとか、坂井平田、それから相良港、そういったところの港の入り口については閉鎖することができませんので、これについては看板を設置することで対応させていただきたいと考えております。

閉鎖時期でありますけれども、今週の25日、土曜日から当面の間ということで予定しております。

このことにつきましては、地区のそれぞれの区長さんをはじめ、関係者の皆様にはご報告をさせていただいて、ご了解をいただいております。

前日の金曜日から順次作業のほうには入っていききたいということで考えております。

以上です。

○議長（中野康子君）

これに対して、質問はございますでしょうか。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

閉鎖時期ですけれども、24日から準備作業を始めて25日からということなんですけれども、きょうからということでない理由はどんなことですか。準備期間が必要なんですか。

○議長（中野康子君）

建設部長。

○建設部長（飯塚一日君）

一応、周知期間を設けて、金曜日まで準備して設置をさせていただきたいということで進めております。

以上です。

○議長（中野康子君）

そのほかに。

植田議員。

○ 8 番（植田博巳君）

1点だけお聞きします。この対応というのは、県内外、主に県外から来るサーファーの方を対象にこういうような形をとられていると思うんですけども、海岸の駐車場の入り口だけではなくて、もしそうであれば、インターの出口とかそういったところに、やはりこういうような海岸は閉鎖していますというような形の案内等を、インターの出口とか主要道路のところにやはり看板設置することが重要なのかなと思うんですけども、その辺は考えていらっしゃいますか。

○ 議長（中野康子君）

建設部長。

○ 建設部長（飯塚一日君）

現在、周知方法としましては、市のホームページとか、LINEとかいろいろな媒体を使おうということで考えておりましたけれども、確かに今おっしゃられるように、そういった重要幹線のインター等、そういったところに設置することも有効であると思いますので、そこら辺は実施をしていきたいと考えております。

○ 議長（中野康子君）

植田議員。

○ 8 番（植田博巳君）

ぜひ、そうしていただきたいと思えますし、やはり地元のサーファーの方からも、駐車場の入り口だけ看板があっても、いろいろなところへ違法駐車というか、この前もお話ありましたけれども、多くなるということなので、やはりそういう主要な道路とかインターの出口に、今コロナ対策で海岸線は利用できませんというような表示をしたほうがいいんじゃないかというご意見がありましたので、その辺でお伺いいたしました。

○ 議長（中野康子君）

建設部長。

○ 建設部長（飯塚一日君）

早急に対応していきたいと思えます。

○ 議長（中野康子君）

そのほかによろしいでしょうか。

平口議員。

○ 5 番（平口朋彦君）

今もお話がありました、違法駐車や迷惑駐車、市の管轄の官地だったらいいんですが、公道上の話になると、どうしても市も手が出ない部分もあると思うんですよ。そういったところで、牧之原警察との連携と言ったらおかしいんですが、警察に何らかの要請とかをしていたりはしますか。そういった状況をお聞かせください。

○議長（中野康子君）

建設部長。

○建設部長（飯塚一日君）

この件につきましては、やはり一部海岸の道路ということもあるものですから、そこを閉鎖するということになりますので、あらかじめ警察のほうにも報告をしてありますけれども、それに合わせて周辺における駐車違反とか、そういったことのパトロールも併せてお願いをさせていただいてあります。

○議長（中野康子君）

そのほかに。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

よろしいですか。

それでは、これで静波海岸隣接道路及び相良海岸・静波海岸陸間の閉鎖についてのご報告は終わります。

次に、新型コロナウイルス対策標語の募集についてを、ご説明お願いいたします。

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

それでは、最後のペーパー、資料3をごらんいただきたいと思います。

現在、子供たちは5月6日までの臨時休業中ということで、その間、臨時登校日を設けたり、あるいは家庭訪問をしまして、課題を示してあるいは子供たちの健康状態等を確認しているところなんですけれども、子供たちは早く学校に行きたいな、友達と一緒に遊びたいなということが本当に切なる声として伝わってきています。

こういう状況であります。今、私たちがすべきこと、できることを子供たち自身も考えてもらって、あるいは健康、安全に関する学びをする機会というのもこういうときにもできるかなと思いついて、市の関係する産業経済、健康推進、教育委員会と協力し合って、市内小学生の皆さんに標語を募集するということを考えました。また、その応募していただいた標語につきましては、感染対策の啓発にも活用していきたいと思っています。

募集内容ですが、そこに示してありますように、新型コロナウイルス対策として、市民の皆さんができること、みんなにしてもらいたいこと、これを表現した標語を親子で一緒に考えてくれるといいかなと思っています。

市内の小学生を対象としたいと思います。

また、学校が臨時休業中であるために紙媒体で配ることができませんので、まきはぐウェブアンケート、あるいは市のホームページで示しまして応募していただくということになります。

また、回収方法も紙媒体ではなくてウェブアンケートの回答でウェブを使って行いたいと思います。

休業中ということもあるものですから、5月8日までとしたいと思います。

審査の結果は低中高学年の部門に分けて、下にありますような、四角で囲んでありますが、こういった賞を用意させていただきました。これは、牧之原産業・地域活性化センターの協賛をいただいているところであります。

賞品は、テイクアウト食券ということになります。

最後に、一番下にありますが、標語の活用方法としまして、いくつか考えられるんですけども、一つは市民向けに発送する封筒がありますので、そこに標語を印刷したりとかして、感染予防を皆で頑張りましょうとか、そういうことを呼びかけたいなと思っています。

以上です。

○議長（中野康子君）

説明は終わりました。質問等ありましたら、お願いします。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

確認なんですけれども、下の内訳のところですけども、どうも理解ができないんですけど、努力賞というのが10点。3学年で1,000円ずつで、30人で6万円になっているんですけども、1,000円掛ける30は3万じゃないかなと思うんですけど、これは何でしょうか。

そんなに大きい問題じゃないということなんですけど、ちょっと資料で出すには軽率過ぎると思いますので、しっかりチェックをお願いして提出するようにお願いします。

○議長（中野康子君）

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

誠に申し訳ありませんでした。ここは本当にお任せ状態になってしまって、今後また、以後気を付けたいと思います。

○議長（中野康子君）

よろしく願いいたします。

それでは、よろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

4 その他

○議長（中野康子君）

では、その他のほうで何かありましたら、どうぞ。よろしいですか。

それでは、皆様本当にありがとうございました。突然のお呼び出しにもかかわらず、本当に気持ちよくお出かけいただいたこと、感謝申し上げます。

以上で、全員協議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

〔午前 10時53分 閉会〕